

大阪維新の会 大阪府議会議員団

大阪再生への唯一の道 大阪都構想の実現に 揺るぎなき信念

大阪府議会2月定例会が、平成26年度大阪府当初予算案などを議決し3月24日に閉会しました。

この定例会における代表質問には、大阪維新の会府議団から副幹事長の三田勝久議員が立ち、松井知事や中原教育長らと熱い議論を交わし、府政の改革と伸展への議員団の考えと大阪府の取り組み状況を明らかにしました。



代表質問する三田勝久議員

府・市再編による 大阪にふさわしい大都市制度の実現

三田議員

国が成立をめざす地方自治法改正案は政令市制度の改革に関わるもので、これまでの大阪の熱意ある取り組みが国を動かした。しかし「区長公選制まで踏み込んでいない」「政令市と都道府県の協議が整わない場合は国が関与する」など不十分な点がある。大都市制度改革の究極の到達点は大阪府市の再編であり、今回の法改正はそれに至る過程の位置づけと考えるが。

松井知事

二重行政を抜本的に解消するためには、広域機能そのものを一元化すべきであり、住民自治の強化には、公選の区長・区議会のもと身近な行政を担う特別区を設置すべき。大阪にふさわしい新たな大都市制度の実現こそが大阪再生の唯一の道というのが、私の揺るぎない信念である。



答弁する松井知事

三田議員

大阪府市再編の実現に向けた調整状況を見ると、国とは、「中核市権限までは法改正対応」の方向で協議が進められているなど、大阪府市再編の実現に向けた必要条件が着実に整いつつあるのではないかと。国との調整状況について知事の考えは。

松井知事

現在の制度改革は、私がこれまで主張してきた「地域の実情に応じた多様な大都市制度」に一步踏み出すもので、国は、大都市地域特別区設置法に基づき、誠実に対応されている。



質問の動画は、大阪府議会ホームページ(インターネット中継)でご覧になれます。

大阪府議会 検索 (大阪府議会ネット中継) <http://www.gikai-web.jp/dvl-osakahu/>

南海トラフ巨大地震への確実な備えで強い大阪に

三田議員

液状化対策など、津波浸水対策が必要となる河川・港湾の防潮堤には、大阪市や国の管理するものもある。津波への備えをより確実にするには、隣接する兵庫県も含め、他の管理者と密接に連携した取り組みが必要ではないか。

松井知事

「府民の生命を守る」ことに直結する防潮堤の液状化対策を一日も早く完成すべきという思いは、国や大阪市、隣接する兵庫県と共有しており、対策の重点化や優先順位の考え方は統一している。各機関としっかり連携し、全力で対策に取り組んでいく。

乳幼児医療費への助成 H27年度から拡充へ

三田議員

府が実施する乳幼児医療費助成制度は全国最低レベルで、市町村が独自に対象年齢を引き上げている。乳幼児医療費助成制度の拡充について、平成26年度の早いうちに結論を出せるよう、府内市町村とともに前向きに検討を行うべき。

松井知事

平成27年度から市町村支援を拡充したいと考えている。早期に結論が出せるよう、市町村と検討を進めていきたい。

生き抜く力の育成をめざす 大阪の教育

三田議員

大阪の未来を担う子ども達をたくましく育てるため、大阪の教育政策をどのように展開していくのか。

中原教育長

生き抜く力の育成をめざしたい。すべての大阪の子どもたちが自分に対する自信と、他人に対する思いやりを持つことができる教育を引き続き進めていく。具体的には、府内統一テストの実施による小中学校の学力向上、実践的に使える英語教育改革、支援教育のあり方の中・長期的検討、エンパワーメントスクールなどの学力底上げ策、就職支援などを進めていきたい。

その他の質問事項

- ・観光の振興
- ・次期フェニックス計画
- ・首都機能の代替
- ・OTK株式売却
- ・ビッグデータの活用
- など

府議団、改革の軌跡 第3回

府議定数21人(20%)を削減!

—全国最大規模削減—

平成23年5月定例会において、府議定数を現行の109人から88人へと21人削減する条例改正を可決成立させました。
「大都市にふさわしい広域自治体の議員定数は人口約10万

人に議員1人が妥当」とする大阪維新の会の基本的な考えに基づき、議員自らが大幅な削減を断行すべきという信念に立ち、全国でも例を見ない大規模削減を実現させたものです。

府議会では議員定数の抜本的な見直しを何度も協議・検討してきましたが、各会派の思惑が常に一致せず、結局、総論賛成、各論反対、そして結論先送り。この繰り返しでいつも府民をがっかりさせてきました。維新府議団が過半数を取り改革を断行したことにより、これに終止符を打ちました。

大阪府議会の議員定数の変遷

年	定数(人)	大阪府人口
S50	112	827万9000人
S54	113	844万7000人
H11	112	880万9000人
H23	109	886万5000人
⋮	↓	
H27	88	(人口10万人に1人)